

障害児者とのコミュニケーションを考える

障害のある方とかかわる中で、コミュニケーションについて悩まれたことはないでしょうか？お互に通じ合えないことほど、大変なこと・つらいことはありません。

そこで、今回の楽暮プロジェクト・イベントでは、仙台で活躍中の方々から話題を提供していただきながら、障害児者とのコミュニケーションについて考えます。また、コミュニケーション支援について皆さんがお持ちの情報を交換しあう場として、このイベントを利用して頂ければとも考えます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時

平成17年9月11日(日) 9:30～16:00 (開場9:00)

会場

東北大学 川内南キャンパス 文科系総合研究棟 206番教室

講師

【講演①】「重複障害児(者)とコミュニケーション」

川住 隆一 氏 (教授、東北大学大学院教育学研究科)

【講演②】「支援機器の紹介」

福土 幸弘 氏 (支援機器開発者、機器ルーム)

「e-AT機器の実践使用について」

柴田 邦臣 氏 (宮城UPプログラム、大妻女子大学)

【講演③】「自閉症児者とコミュニケーション～自己決定の視点から」

伊藤あづさ 氏 (家族、東北大学加齢医学研究所)

参加費

2000円 (昼食時の軽食代を含みます。)

申込方法

参加者の氏名・連絡先等を、メールかFAXでお知らせください。

参加費の納入は、できるだけ「銀行振込」でお願いします。

(振込先：七十七銀行 長命ヶ丘支店 普通口座 5475635 ラボプロジェクトイベント)

申込・納入期限：平成17年9月2日(金) (先着順で60名まで)

メール：rabo-pj-owner@yahoogroups.jp FAX：**022-718-1987**

問合せ先

上記メールアドレスかFAX番号まで、問い合わせ内容と連絡先をお知らせください。折り返し、事務局から連絡させていただきます。

主催

楽暮プロジェクト (宮城にAACとATを広める会)

<http://www.geocities.jp/rabopj/>

共催

NPO法人ビートスイッチ・宮城UPプログラム

<http://www.microsoft.com/japan/mscorp/citizenship/ca/up/>

第1回 楽暮プロジェクト・イベント「障害児者とのコミュニケーションを考える」(H17. 9. 11)

日程

9:00	9:30	9:45	10:45	10:55	11:45	12:30
受付	開会 あいさつ	講演①	休憩	講演②	参加者 自己紹介	
12:30	13:30	14:30	14:40	15:30	15:40	16:00
昼食 機器展示・書籍販売	講演③	休憩	情報 交換会	閉会 あいさつ	交歓会 展示・販売	

※ 昼食時には軽食・飲み物を用意します。

※ 情報交換会では 質疑応答のほか、参加者の実践紹介の時間を設けます。情報のある方、ぜひ準備をお願いします。(人こそ資源！)

展示・販売

- パシフィックサフライ株式会社 : コミュニケーションエイド各種の展示
- ビートスイッチ/宮城UPプログラム : パソコンへの入力補助装置 等の展示
- 機器ルーム : パソコン入力支援機器、環境制御装置 等の展示
- スペース96 : コミュニケーション関連の書籍の販売
- その他 自作スイッチ、改造おもちゃ等の展示・販売

会場案内

東北大学 川内南キャンパス
文科系総合研究棟(教育学部棟・11階建)
206番教室

仙台市営バス

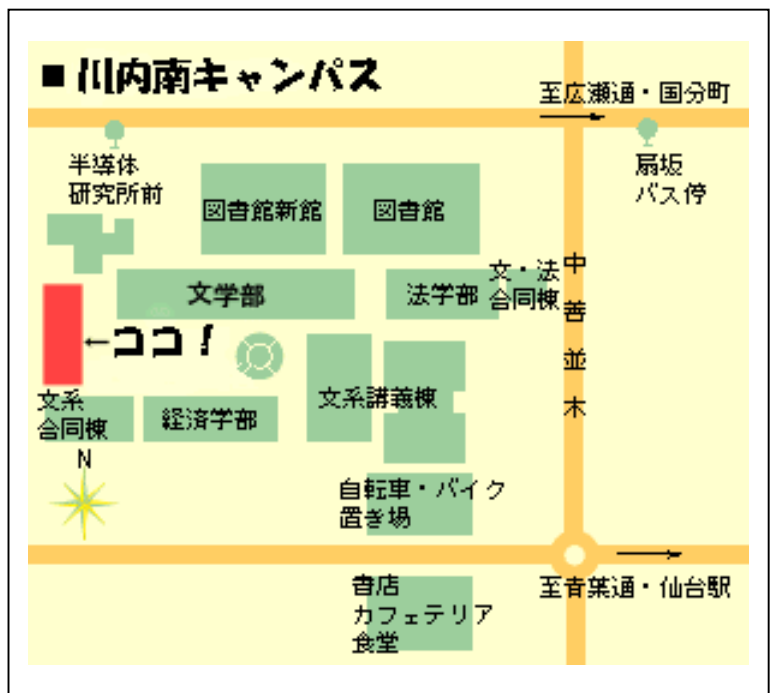
仙台駅前バスフェール9番のりば
宮教大行 扇坂下車
青葉台行 扇坂下車
動物公園循環(青葉城経由) .. 扇坂下車

仙台駅から乗車時間約 15分、180円
扇坂より徒歩3分

「るーぶる仙台」は、扇坂には停車しませんので、ご注意ください。

駐車場につきましては、楽暮プロジェクトホームページをご覧ください。

<http://www.sed.tohoku.ac.jp/openmap2.html> より転載(一部改)



第1回 楽暮プロジェクト・イベント（9月11日）

「障害児者とのコミュニケーションを考える」 参加申込書

	氏名	所属団体名、連絡先など
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

申し込み先

FAX : 022-718-1987 メール : rafo-pj-owner@yahogroups.jp
楽暮プロジェクト・イベント事務局 宛

問い合わせ先

FAXかメールで、連絡先とともにお知らせください。 折り返し事務局より連絡致します。

FAX : 022-718-1987 メール : rafo-pj-owner@yahogroups.jp
楽暮プロジェクト・イベント事務局 宛

参加費振込先

七十七銀行 長命ヶ丘支店 普通口座 5475635 ラボプロジェクトイベント

申込・納入期限

平成17年9月2日(金)までにお願ひします。(先着順で60名まで)



楽暮プロジェクト
(宮城にAACとATを広める会)

<http://www.geocities.jp/rabopj/>

- ・ 楽暮(らぼ)プロジェクトは、障害者とのコミュニケーション技法であるAAC(拡大・代替コミュニケーション)やその支援機器・技術であるATについての情報交換の場です。
- ・ 定例会では、実践の紹介、セミナー、支援機器の紹介、おもちゃの改造やスイッチの製作などを行っています。
- ・ 現在、主に宮城県内の、養護学校教員、リハビリテーション専門職、技術支援者、支援機器開発者、障害者の家族、福祉施設職員などが参加しています。



NPO法人ビートスイッチ

<http://www.b-taihaku.net/>

- ・ 「NPO法人 ビートスイッチ」は、障害のある方、高齢の方の地域生活における多様なニーズを支援するために、仙台市域と宮城県域で活動している特定非営利活動法人です。主な事業として、福祉情報(IT)支援、地域での居場所づくり、情報弱者向け災害支援、福祉教育などの分野に取り組んでいます。
- ・ 障害のある方向けのIT支援のために、みやぎNPOプラザ内に「宮城UP支援センター」を開設・運営し、「宮城UPプログラム」を実施しています。
- ・ 具体的には、初心者向けに地方でのIT学習の場を提供していく「プログラムA」、ITスキルを身につけて就労や社会参加をめざす「プログラムB」、e-AT技術を学びあう「プログラムC」などを行っています。
- ・ プログラムCでは「楽暮プロジェクト」と連携を組み、宮城県の障害者向けIT支援の輪を広げていきます。



宮城UPプログラム

<http://www.microsoft.com/japan/mscorp/citizenship/ca/up/>

- ・ 「宮城UPプログラム」は、マイクロソフト株式会社が世界各国でおこなっている「Unlimited Potential プログラム」の一環として実施されています。
- ・ 宮城では宮城県の後援のもと、非営利特定活動法人ビートスイッチとパートナーシップを組み、障害者みずからの社会参加や自立支援、就労の機会拡大のために、以上のプログラムを、楽暮プロジェクトなど宮城県、東北地方の障害者向けIT支援に取り組む非営利団体と連携して実施していきます。